土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

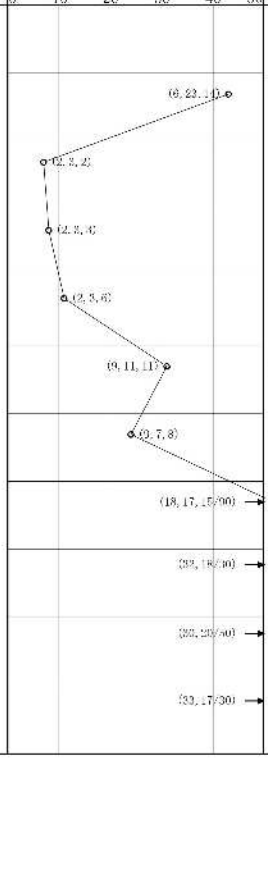
調査名	一級河川高梁川水系田黒川外　測量設計業務委託（災害査定）
事業名 または 工事名	一級河川高梁川水系田黒川外　測量設計業務
調査目的及び調査対象	河川 構造物基礎

ボーリング名	R2-BP. 1	調査位置	広島県庄原市西城町平子			北緯	34° 54′ 59.1994″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所			調査期間	2020年 10月 27日 ～ 2020年 10月 30日	東経	133° 06′ 32.6140″
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 295.71m	角度	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM製YBM 1WA型
総削孔長	10.00m								エンジン	ヤンマーTF120V E型	ポンプ	YBM製GP 5型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定年月日
1	294.07	1.00		盛土		暗灰				0.0～0.2m間は植栽部が埋められる。 0.2～1.7m間は酒枝部の粘質な土石。	
2	293.2	2.50		礫混り砂		灰褐～褐	緩い			φ3～5mm程度の礫を少量含む砂主体。	
3	291.96	3.75		礫混り粘性土質砂		淡褐～褐	緩い			φ2～5mm程度の礫を少量含む。 基質は粘性土質砂主体。 3.0～3.5m間は礫分多いが、2.5～3.0m、3.5～3.7m間に粘性シルト分大きい。	
4											
5				礫混り砂		淡褐～褐	中ぐらい			通称、谷川マサと呼ばれる花崗岩が強風化しマサとして移動再堆積したもの。 0.0～0.2m間は笹根部が発達する。	
6	289.16	6.55									
	289.06	6.65		粘性土		淡褐		軟らかい		緩い粘性土を挟む。	
7											
8				砂質土		淡褐～褐～暗褐				吸水1回当の強風化花崗岩。 強い手圧でマサ～粗マサ状に解ける。 部分的に礼白色を呈し、熱水変質化し、粘性土化している。	
9											
10	285.71	10.00									

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
43	1.45～1.49	6	23	14	43－5/30		
7	2.45～2.49	2	3	2	7－5/30		
8	3.45～3.49	2	3	3	8－5/30		
11	4.45～4.49	2	3	8	11－5/30		
31	5.45～5.49	9	11	11	31－5/30		
24	6.45～6.49	9	7	8	24－5/30		
82	7.45～7.49	18	17	15－90	70－5/30	290	
115	8.45～8.49	17	18－30		70－5/30	130	
100	9.45～9.49	26	24－50		70－5/30	150	
115	10.45～10.49	33	17－30		70－5/30	130	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	削孔月日
				10/27
				10/28
				10/29